聖母小だより

令和8年3月2日

3月号

桜の聖母学院小学校

「継続は力なり　～２０２６冬季オリンピックより～」

学校長：落合 茂幸

今年の冬季オリンピックはイタリアのミラノ・コルティナで開催されました。各競技で熱戦が繰り広げられ，世界中の人々に大きな感動を与えてくれました。この大会で日本は過去最多の２４個のメダルを獲得しました。

私は，数多くの競技の中で特にスキージャンプ混合団体に出場した高梨沙羅選手に注目していました。その理由は，高梨選手が前回大会のリベンジを果たすべく，並々ならぬ決意でこの大会に臨んでいたからです。高梨選手は，前回の北京オリンピックの混合団体に出場した際，スーツ規定違反により失格となり，目標としていたメダル獲得を逃しました。この結果に責任を感じた高梨選手は競技からの引退を真剣に考えたそうです。しかし，周りの人たちからの励まし，支えによって気持ちを切り替え，再び４年後のオリンピックを目指す決意をします。その結果，これまで以上にトレーニングを積んで臨んだ今大会で見事に銅メダルを獲得しました。試合後のインタビューで「北京オリンピック後に，この競技からの引退を考えた。しかし，応援し支えてくださる多くの方々のおかげで立ち直り次に向かうことができた。正直，代表に選ばれても自信はなかったが，チームみんなのおかげでメダルをとらせていただいた。今までとったメダルの中で一番うれしい」と笑顔で語っていました。高梨選手からは，諦めずに継続した努力を続けることの大切さを改めて教えていただいたような気がしました。高梨選手に限らず，同じような思いで大会に臨んだ選手はたくさんいたことでしょう。大会前に大けがをしながらも必死の治療で出場を果たした選手もいました。

特に今大会，注目を集めていたフィギュアスケートペアの「りくりゅう」も，何度も挫折を味わい，一度は引退を決意しながらも立ち直り，ショートプログラム５位からの大逆転で見事に金メダルを獲得し感動を与えてくれました。

こういった大会ではどうしても結果だけが注目されがちです。結果も大事ですが，そこまでの過程もとても大切だと思います。どれだけ本気で取り組んだか，自分でやり切ったと思えることが大切だと思います。そしてその姿に人は感動するのだと思います。

児童の皆さんには，挫折や失敗をすることがあっても，そこで決してあきらめずに，目標に向かってこつこつと継続した努力を続けられる人になってほしいと願っています。そしてその姿は必ず周りの人たちに勇気や感動を与えることになるはずです。皆さんのこれからの頑張りを大いに期待しています。

「鼓笛移杖式」　2026/2/3(火)　音楽科：古山 歩希

式が始まる前の会場は，静かな緊張感に包まれていました。今年度初めてこの行事に立ち会った私にとって，その空気は本校の伝統の重みを感じさせる特別なものでした。

式は，６年生による最後の演奏から始まりました。３４名の心が一つになった音色は堂々としており，これまで積み重ねてきた努力や仲間との絆が感じられる，素晴らしい演奏でした。続いて行われた指揮杖の引き継ぎでは，６年生の　　さんから５年生の　　さんへ指揮杖が手渡され，立派な挨拶とともに伝統への誇りと決意がしっかりと伝わってきました。４年生は，これから伝統ある聖母小の鼓笛に加わる期待と緊張を胸に真剣な表情で臨んでおり，伝統が確かに次の世代へ受け継がれていくことを実感しました。本校の鼓笛は，新たな一歩を踏み出しました。

６年生最後の演奏♪全校生が聴き入りました。

ありがとうございました!!

ご寄付の御礼

★手芸ボランティアより…201,212 円(幼小)

活動収益よりご寄付いただきました。感謝申し上げます。また，長年にわたる活動にも心より感謝申し上げます。

ベルマーク作業　　学校側担当：定方 一悦

●2 月 21 日(土)実施予定の「第３回ベルマーク作業」は感染症蔓延防止のため中止となりました。令和７年度も委員の皆様をはじめ，保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

おめでとうございます!!

第７０回 福島県書きぞめ展

・書きぞめ準大賞　　３年：

　　６年：

＊学校としましても，「優秀学校賞」を受賞しました。

第２２回 英語コンペティッション

【リーディング部門】

・審査員特別賞　　６年：

「桜の聖母学院中学校　校舎落成式」２月２１日(土)　教頭：中津真貴子

昨年５月から行なわれていた中学校校舎建築工事も終わり，２月 21 日(土)に無事「落成式」を執り行うことができました。児童はもちろんのこと，保護者の皆様の工事に関わるこれまでの多大なるご協力に深く感謝申し上げます。

落成式には馬場市長をはじめ，学院に関わる多くの来賓の方々のご臨席を賜りました。また，桜の聖母学院中学校全生徒も出席しました。マチアス・アントニオ神父様を招き，校舎の祝別をしていただきました。小学生も先週学年毎に見学し，福島県産材の香り豊かな校舎に目を輝かせていました。

小学校と中学校をつなぐ二階交流ホール手前には，マリア像と旧修道院聖堂のステンドグラスを飾った「祈りの間」も作られました。３月４日(水)の保護者会の折にぜひご覧ください。(ただし，当日，中学校校舎は一部工事予定があるため見学できません。４月までお待ちください。)

二階交流ホールにて「落成式」
床はクリ材，壁はスギ材を使用しています。

「卒業練成会」＆「卒業ミサ」　2026/2/18(水)　６年担任：原田 聖士

北川大介神父様をお招きして，卒業練成会と卒業ミサを行いました。卒業練成会では，まず，「海戦ゲーム」というグループ活動をしました。自分の考えを話したり，友だちの意見を聞いたりする活動を通して，協力する大切さを学びました。

次に，自分の成長点や課題点を探す活動をしました。自分を振り返ることで，６年間の成長，これからの伸びしろを再確認することができました。これらの背景には，ご家族や友だちなどの支えがあり，周りの方への感謝を忘れないようにすることも学びました。その後，子どもたちと保護者の皆様，教職員で卒業ミサを行いました。厳かでとても良い時間を過ごすことができ，嬉しく思いました。みんなで神様に祈ることで，心を一つにすることができたようにも感じました。

２つの行事を通して，子どもたちは卒業に向けての「心」の準備ができました。残り少ない小学校生活となりましたが，最後まで充実した日々を送ってほしいと願っています。

今年度の卒業ミサは松木町教会で行いました。北川神父様から一人ずつ祝福をしていただきました。